

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐藤部会長	クレードルの排熱は、何かに使えないだろうか。
城委員	設備投資の問題があるのではないかと。また、自家発電はリスクが高い。
佐藤部会長	F S C 認証の関係で、ネズミの駆除薬が使えないというのはどういう内容なのか。
阿閉委員	規制内容の変更により、今年の秋までしか使えなくなった。
伊成主幹	国際基準。カラマツのみの話。カラマツの植林地域は一部で、全国的な問題にはなっていない。5年間は経過措置だが、継続して使用させてもらえるよう引き続き要望はしているところ。散布は降雪する少し前の時期。人間はバケツ1杯飲んでも致死量には至らないという説もある。
小西事務局長	林業は、経済活動以外の捉え方があるため、農業より難しい面もある。美幌町が、F S C という国際認証を受けている木材としてそこだけをクローズアップすれば、ふるさと納税のお返しに町産材を用いたものを使用することなどにより、町の顔にすることも出来る。現在、美幌町がF S C 認証を推進しているのとは別の視点での推進も出来るのではないかと。
阿閉委員	最近では、多くのティッシュの箱に「F S C ミックス」の表示がある。大手もF S C を使用している。
林委員	ペレットストーブはどうか。町で普及させたいのか。
伊成主幹	町で普及推進している。が、灯油の値段が下がってきたので、灯油の方が安価。
林委員	ペレットストーブは魅力的に感じていた。薪ストーブと比べてはどうか。
伊成主幹	薪代の方が安価。
林委員	購入者が気にするのは、経済面と手入れの手間であろう。
城委員	ふるさと納税のお返しで、山を差し上げるといのはどうだろうか。
林委員	手入れが無く、山を持っているだけでも良いのであれば希望者がいるかもしれない。
城委員	皆さんが寄附をするつもりで投資できればよいが。
広島部長	環境を守るための投資、ということで頂いた寄附金で町が山を買う、というサイクルが制度化出来れば、良いことである。
城委員	後は、取得に係る手続きを簡素化出来れば良いが。